

令和4年6月(2022年) No.678

### 恒例の課題コンテスト

## 1 2 作品の応募で盛会

### 最優秀作品は高瀬氏の「京友禅張絵師」

毎年宮中歌会始めの儀で、来年のお題が発表されますが、その「題」を拝借して映像作品を作ろう、との発想で始まったコンテストで、今回のテーマは「友」でした。簡単なようで案外難しいテーマのように思いましたが、会員諸氏よく頑張って作って頂きました。

「友」という字が入った題名なら内容は自由です。みんな苦心して題名を付け何とか作品にまとめてコンテストに参加されました。こうしたテーマを与えられて作品を考えてみるのも勉強になります。1位3点、2位2点、3位1点の割合で採点。

■ 最優秀作品	京友禅張絵師	8分40秒	高瀬辰雄	19票
■ 優秀賞	友ヶ島	4分27秒	江村一郎	14票
■ 秀作賞	追憶の学友たち	15分07秒	合原一夫	13票
■ 佳作賞	三友会の初詣	10分43秒	宮崎紀代子	
〃	友禅一筋	6分22秒	中村幸子	
〃	雪中四友	8分25秒	紙本 勝	
〃	歌の友	16分55秒	上総秀隆	
〃	花言葉「友」	7分19秒	中川良三	
〃	撮影会の友人	4分55秒	植村朝一	
〃	学友と共に	6分30秒	山本正夢	
〃	友ヶ島情話	5分00秒	岡本至弘	
〃	旧友たちと楽しむ桜見物	16分20秒	進藤信男	



最優秀作品



優秀賞



秀作賞

### ■ 表彰式

採点結果、以上のようになり、会長より出品者全員に記念品の贈呈式が行われました。よい作品は秋の映像フェスティバルに上映作品候補として推薦されます。

## 6月例会のご案内

- 第4土曜日 25日、18時より、難波市民学習センターにて開催

楽しいひと時を過ごしましょう。

# 課題コン「友」

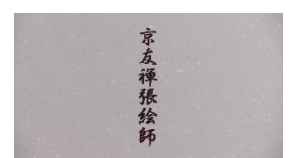
## 作品総評

会長 合原一夫

毎年宮中歌会始めで、来年の「お題」が発表されるのにちなんで、映像作品コンテストを実施しているが、今年の「友」は意外と取り付き難い題だったようだ。

多かったのは「学友」、「旧友」、「友ヶ島」、「友禅」といったものが複数つつ見られた。上映順はくじ引きで決めたので、その順で見てみよう。

- ① 「花言葉・友」中川さん。公園の花畑に行き、いろんな花の花言葉を紹介されているが、主役の「友」にちなんだ黄と赤のバラだけが花言葉に友情、友愛、永遠の友情とあった。このバラが出るのが遅かったので、友と関係のない花言葉を持つ花はもっと整理すべきでは。ラストの新婚さんのカットは良かった。
- ② 「撮影会の友人」植村さん。カメラマンの女性のつぶやきをうまく録音されているので、ワイヤレスマイクを持たせて撮られたと思うが、一人語りの効果は十分出ている。だが作品としてみる時、単なるスナップ的に終わってしまった感がある。しかし適切な人を友人に持っておられることは羨ましい。何か別の作品で再登場を期待。
- ③ 「歌の友」上総さん。堺市でサークルさくら、という歌の発表会を記録されたもの。ほとんど舞台の歌い手と演奏者の映像で成り立った作品で、これは主催者側から頼まれて記録されたものと思う。そうでなくて作られた作品であれば、もっと全体的な会場の雰囲気とか聴いている人の反応とか入れた描き方がある筈。だが貴重なイベントの記録には違いない。
- ④ 「雪中四友」紙本さん。紙本さん植物については実に詳しい人だと改めて感心。花のテキストとしても使えそう。ラストがあっけないのが惜しい。
- ⑤ 「学友と共に」山本さん。知人の外国の方が神戸大学の博士号の贈呈式の様子を記録されたもの。丁寧に撮られており、当事者にとっては貴重な記録映像となる。
- ⑥ 「京都友禅張絵師」高瀬さん。最優秀作品に輝いた作品だけに、良く出来た作品である。京友禅の出来るまでを視野に入れて撮られているが工程が多いので実際はその一部かも知れない。ラストの締めくくり方が物足りないのが惜しい。
- ⑦ 「友ヶ島」江村さん。OMC 撮影会で友ヶ島を撮った作品で、あれから7年が立つという、その点、今回の課題コン「友」として新しく制作したわけではないが、作品としては良く出来ており2位の優秀賞に選ばれた。
- ⑧ 「旧友たちと楽しむ桜見物」進藤さん。高校卒業後48年の同窓会、京都で桜見物とか。学校の同窓会はお世話する人が大変で、行われているのはごくわずかのパーセントだと思う。せっかくの同窓会だが、花より談の方が賑やか、という割には「談」の会話が活きていないのが残念。楽しい語り合いが主役になればよかったと思う。
- ⑨ 「三友会の初詣」宮崎さん。三友会とは、老人会の名称だとか。毎年バスで初詣の習わしとあり、今年もバスで3ヵ所をまわられた由。記録としてはまずまずよくまとまっている。
- ⑩ 「追憶の学友たち」合原。私の作品だが写真を整理中ふと目に止まった25年の同窓会の記念写真から、大学卒業後50周年記念の同窓会を回想する。とい



う設定で作った作品。皆米寿を迎えた年齢、亡くなったり交流が途絶えたりしている学友の何と多くなかったことか。感慨深いものがある。

- ⑪ 「友ヶ島情話」岡本さん。理屈抜きに楽しくまとめられた歌謡映画。ひと頃はやったことを思い出す。いい曲じゃないか。
- ⑫ 「友禅ひとすじ」中村さん。京都嵐山。以前京友禅を手掛けていた方を訪ねたが、友禅不況で仕事をやめ、喫茶店になっていた、との始まりで、以前の友禅をやっていくためとのインタビューで現状を描いた作品。中村さんならでは作りになっている。然しなにかたらない気がする。



## 3年ぶりの一泊撮影会

### 乾杯の味もまた格別

5月14～15日(土・日曜日)兵庫県福崎町で柳田国男関連の妖怪たちをテーマとした一泊撮影会が実施された。お天気にも恵まれ11名の参加者があり、大型タクシーにて市内のあちこちに点在する妖怪達や柳田国男(民俗学者として有名な方)生家や関連する神社や民家などを撮影。夜は姫路の居酒屋で3年ぶりのビールで乾杯。やっぱりこうした雰囲気はいいねえ。人と人が直にふれあい、語り合い、飲み合う、等というのはやはり最高! コロナの事などすっかり忘れた2日間だった。お世話頂いた進藤さんと中川さんに感謝!



姫路駅前

- この撮影会コンテストは7月第2例会で開催します。同じ場所、同じ条件で撮影した映像素材を、どう料理するか、どんな筋書きに持っていか、トップは?ラストは?各自の腕の見せ所です。

## 5月通常例会レポート

通常例会は第4土曜日28日、難波市民学習センターにて開催。このところ梅雨明けのような初夏の気温となり、半そで姿の人が増えてきた。ところが例会場はエアコンが効いていて半袖では寒いと震える人が出るほどの室内環境。夏場の例会には何か羽織るものを持参の方がいい。

今月はいつもより若干少ない集まりで、作品も7本にとどまった。進藤氏が検査入院とかで珍しく欠席された。何事も無いことを祈るのみ。

- **運営担当:** 司会合原、書記 高瀬、YouTube 関係 中川、映写 中川、岡本、メモリー記録 江村、受付・照明 森下、宮崎の各氏
- **出席者:** 岩井、江村、大久保、岡本、紙本、合原、高瀬、坪井、中川、宮崎、森下、山本の12氏(受付順・敬称略)

上映作品(今回の書記 高瀬氏)

- 1, 花しょうぶ いろいろ BD  
中川良三 6分50秒



(作者コメント) 枚方市の山田池公園は「日本の歴史公園100選」に選ばれた、歴史のある公園。5月の下旬から6月にかけて、公園の一角に菖蒲が咲き誇る景観が素晴らしい眺めだ。江戸系、肥後系などと書かれた立札が気になり、ネットで調べ、紹介動画にした。

(書記コメント) 今回はアクティブカメラではなく、新しいカメラでしょうか、きっちりした落ち着いた構図、アングルで花しょうぶの美しさを表現されている。ただ花しょうぶの品種の説明がネットで集められたのでしょうか、ほとんど同じサイズの静止画なのが気になります。

## 2. 左義長燃ゆ (改作) B D

合原一夫 14分15秒

(作者コメント) 滋賀県近江八幡市・日牟礼神社で毎年春に行われている左義長まつり。各町内が競って、その年の干支にちなんだテーマで農産物で飾りたてた作品を屋台に乗せ、町内をかつぎ歩く華麗な祭り。結局は火をつけて燃やしてしまう。その瞬間の熱気と迫力がすさまじい。この作品は或る町内の屋台づくりに密着取材して作りあげた OMC 撮影会 2008 年 (平成 20 年) の作品をこのほど見直し、作り直したものだ。

(書記コメント) 近江八幡の左義長祭りの左義長の製作から奉火まで、さらに次の日の燃え残りまで克明に描かれている。左義長同士の「けんか」や「奉火」のシーンは迫力もあり、左義長づくりに取り組む近江八幡の人々の熱い思いが伝わる作品となっています。取材された町内の左義長は、その出来栄を競うコンクールで3位入賞 (垂れ幕がかかっている) だったようですね。



## 3. 秋・残照 (改作) B D

岡本至弘 7分20秒

(作者コメント) 1月例会出品作品の改作です。この作品の撮影時に詠んだ「短歌」が全国紙 (6月号) に優秀作品として掲載されたので、映像とコラボしてみました。ナレーション代わりにご覧ください。○深山路に燃える紅葉滝の音夕日を浴びて秋の暮れゆく ○奥山に夕日を浴びて散り紅葉落ちて流れて秋深み行く (選者の評) 深紅色がさらに夕日に照らされた情景をよく詠まれ、滝の音に五感が研ぎ澄まされます。溪流の流れが赤く染まりました。

(書記コメント) 「短歌」の「優秀作品」掲載、おめでとうございます。それを機にさらに作品を練り直され、全体として作品の深みも一層増したように思われます。ただラストが青空に真赤な紅葉が映え、素晴らしいシーンなのですが、重ねられている短歌は「深山路に燃える紅葉滝の音 夕日を浴びて秋の暮れゆく」とあり、ナレーション代わりにとされるなら「夕日を浴びて」のカットが欲しいところではないでしょうか。



## 4. ウバメガシと怖いアコウ B D

紙本 勝 10分

(作者コメント) 和歌山県2作目の巨木作品です。アコウは特異な姿をしていて、私にははじめて見る木でした。屋久島など海岸部に多く生育していて、絞め殺しの木といい、奄美大島では赤毛の妖怪と呼ぶそうです。

(書記コメント) JRで御坊まで行かれ、バスを乗り継ぎ、さらに神社への長い道を歩かれたりと、そのお元気さには感服します。アコウという樹は初めて知りました。樹齢数百年、他の樹も飲み込む気根の生命力に触れ、紙本さんの制作意欲はますます高まっていくことでしょう。



## 5. 枚方軍用貨物線 B D

江村一郎 8分50秒

(作者コメント) 大阪城周辺に軍事工場の焼け跡が昭和40年代まで残っていたが、今回の廃線も関連があります。枚方の大爆発など知らなかった事ばかりです。明治29年には造兵工廠枚方製造所が開設、砲弾・火薬製造の一大拠点となる。その陸軍専用鉄路はほとんどが道路となり一部が「中宮平和ロード」(600m)と名付けられ、陸軍の電柱や石が保存される。戦後は枚方製造所



の広大な跡地は小松製作所、大学、団地となり、その団地には火薬庫を囲んでいた土塁が残され、妙見山には戦争遺跡として煙突が残る。

(書記コメント) 数多くの戦争時代の写真や遺跡、歌などを調べて、重厚な作品に仕上げられている。途中、廃線跡がテーマであったことを忘れるほどである。

6. 五ヶ村 B D  
山本正夢 9分

(作者コメント) イタリアの山に囲まれた寒村。外部との交通は海路しかなかったので独特の文化が生まれました。

(書記コメント) 作者、久しぶりの海外作品。かつて海路しかなかったというイタリアの5つの寒村。独特の文化を持つ珍しい村の風景を小気味良いテンポの映像で描かれている。特に海岸沿いの断崖に建ち並ぶ家々が印象的。

7. 青もみじの永観堂 B D  
高瀬辰雄 8分50秒

(作者コメント) 禅林寺は永観堂と呼ばれ、秋の紅葉が有名。その季節は観光客であふれ大変ですが、新緑の青もみじの頃は人もまばらで、ゆっくり拝観できます。禅林寺の末寺の檀家で、数年前に法然上人 800 回忌に参拝した折、撮影した映像を交えて構成してみました。

(会長コメント) 秋の紅葉は素晴らしいと思うが、5月の青もみじもきれいだ。逆光で葉の裏からの色合いが良い、法然上人 800 回忌の法要の場面もぜんたいの静に動が入ってよかったと思う。唯、関西の人だけに観せるのだったらよいが、もしも全国の人を対象とするのなら「永観堂」が京都の東山地区にある、といった場所の説明があった方が理解されやすいと思う。



## 5月第2例会レポート

第2例会は第3木曜日19日午後開催。この日は課題コン「友」の公開審査日だったが15名の会員が勢ぞろい。課題コン作品も12本が出るという盛況ぶりだった。上映は抽選で順番を決め、1位3点、2位2点、3位1点の配点で採点、別掲の通り決定した。

司会進行と講評は会長が担当。休憩後第2部は一般作品の上映で岡本氏の司会役で始まった。

### ◇ 新入会員のご紹介

鉄具嘉夫 様 交野市在住「どうぞ宜しくお願い致します。」

(※詳しくは会員名簿をご参照下さい)

- 運営担当: 司会 岡本、書記 紙本、YouTube 関係 中川、映写 進藤、メモリー記録 中川、受付・照明 宮崎・森下の各氏
- 出席者: 岩井、岡本、植村、江村、紙本、上総、合原、進藤、高瀬、鉄具、中川、中村、宮崎、森下、山本の15氏(敬称略)

### 上映作品(今回の書記 紙本氏)

1. 五個荘 BD  
江村 一郎 8分30秒

<作者コメント> 滋賀県東近江市五個荘の「商家に伝わるひな人形めぐり」に行った。ここはかつてOMCの撮影会でも企画原案・前田茂夫、シナリオ・川畑健二ナレーション・浜田彰

夫、進行・山形修で行われた。その時の作品「近江商人のふるさと五個荘」は19分と今ではかなり長い



が、ナレーションがあることから自然と長くなった。今回はこの19分から小幡人形と祭りの部分3.5分を挿入してコロナのない頃を偲ぶ。

<書記コメント> まずは8mm時代の小幡人形づくりが紹介され、ひな人形めぐりは「清湖雛」の印象が強い。人形づくりで紹介された小幡人形展が見られた後昭和59年に行われたという祭りが続く。重要伝統的建造物群に指定の五箇荘の作品は時々お目にかかるが8mm映像は珍しく、貴重と思われる作品でした。

## 2. 島のお祭り BD

岡本 至弘 8分30秒

<作者コメント> 2004年度のOMCの撮影会作品をリメイクしたものです。この時はカメラの故障で半分くらいは、録画されていませんでした。残っている画像のみで編集しました。DVテープにもノイズがあり削除しました。

<書記コメント> 兵庫県南淡町沼島のくにおみ神話の紹介があり、そこで行われる春祭りは大漁祈願のだんじり・神輿が練り歩き、海に突進し、激しい太鼓のリズムで勇壮な様子がよく撮られています。楽しませてもらいました。

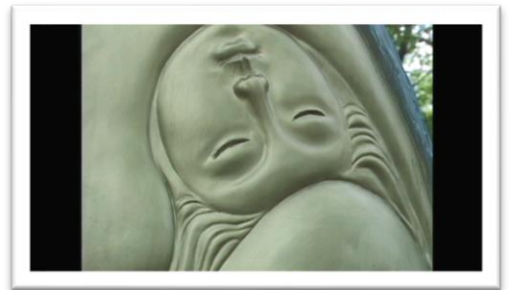


## 3. 彫刻のある風景 BD

合原 一夫 6分45秒

<作者コメント> 私にはノンナレーションの作品は珍しい。うつぼ公園では毎年秋に彫刻展が開催されていた。公園の緑の中にとけこむ数々の彫刻は見ていて癒しの心地がした。彫刻間の転換がスムーズに行く様編集に気がついた。OMC研究会作品で平成12年頃の作品である。

<書記コメント> 花と彫刻展では、公園の色々な花と緑の木々に、抽象的な形や変わった素材の彫刻がよく調和していて美しい。また噴水の中にある彫刻は変化があり、爽やかさを鑑賞させて頂いた。



## 4. 竹内街道 BD

山本 正夢 11分20秒

<作者コメント> 今迄部分的に幾度か訪れていますが全コースを歩いたのは初めてです。郊外には昔の面影が残っているが街中では余り無いので苦労しました。

<書記コメント> 昔の官道、竹内街道を、堺の起点から取材されていて、街道の位置・風物・まち並みの風情、そして、点在する遺跡などがよく判る映像で、1400年の歴史を訪ね歩かれた感があり、見習いたい作品でした。



## 5. かやぶきの里 美山の四季 BD

高瀬 辰雄 12分00秒

<作者コメント> 京都・南丹市美山、かやぶきの民家が30数棟、建ち並び、かやぶきの里と呼ばれています。これまでにOMCの撮影会を含め7~8回、訪れています。その折々に撮り溜めた映像を四季にまとめてみました。

<書記コメント> かやぶきの里に梅や桜が咲き春の訪れに、かやぶきの屋根が輝き、鯉のぼりが泳ぎ夏、早乙女による田植えが進み、茶摘みとなる。屋根の葺き替えに続き防火訓練の一斎放水にカメラの列は圧巻、あたり一面は雪模様となり、雪燈籠の明かりが春を告げる。見事な作品でした。

